

「月経困難症の治療」と「金額」 2025.04.01(令和7年薬価改正後)

2025.04.30作成

医) さのウィメンズクリニック
佐野 正敏

さのウィメンズクリニックにおける 中学・高校生の月経困難症の治療法

A: 生理が順調で生理痛や量が多くて困っている方。

「推奨：黄体ホルモン単独療法」

＊デュファストン錠を毎日1錠内服(休薬なし)。

B: 生理が不順で生理痛や量が多くて困っている方。

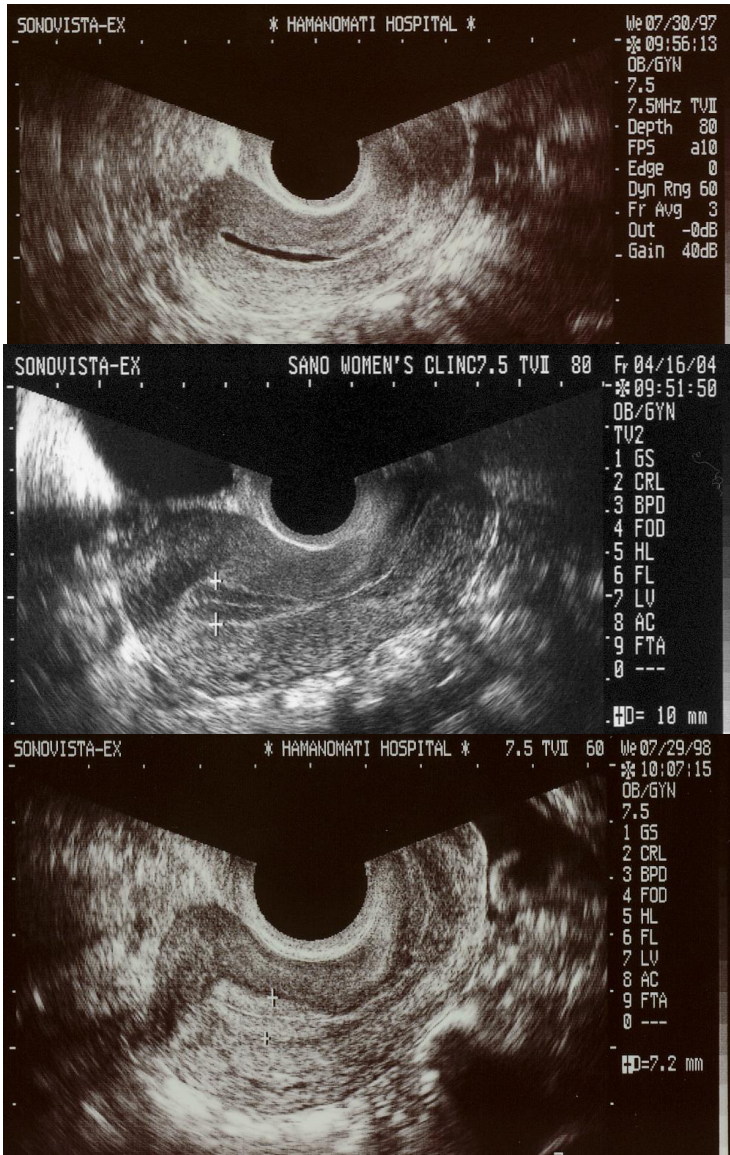
「推奨：LEP療法」

＊フリウエル配合錠・ドロエチ配合錠・ヤーズフレックス・ジェミーナ配合錠、などを服用法に従って。

好ましい月経困難症のホルモン内服療法

1. 妊娠の可能性の少ない**18才未満の月経困難症患者**には黄体ホルモン単独療法(周期的または連続療法)で十分なケースが多い(要:避妊指導)。
2. **30才以上の月経困難症患者**には排卵を抑制しない黄体ホルモン剤の服用を勧めてみる(**晩婚化の予防**)。
3. 避妊が必要な月経困難症患者では経口避妊薬や月経困難症治療薬(LEP)の服用を勧める。
4. **経産婦で避妊を希望する月経困難症患者**には「ミレーナ」を使用する(5年間で薬価約3万円。保険使用可;自己負担約1万円)。

月経過多症に対する黄体ホルモンの効能



- ① 子宮内膜を薄くする。
- ② 生理の量が減る。
- ③ 生理痛が軽くなる。
- ④ 黄体ホルモンの種類によっては排卵を抑制しないので、黄体ホルモン服用中も妊娠が可能。

我が国で製造承認されている黄体ホルモン製剤

製品名	製剤名	製造承認年月日	特記事項
ノアルテン錠	ノルエチステロン	1957年10月	機能性出血、 月経周期の移動。
デュファストン錠	ジドロゲステロン	1961年	妊娠中使用可、排 卵・妊娠の可能性 あり。
ルトラール錠	クロルマジノン	1965年4月	月経困難症、他。
MPA錠	メドロキシプロゲステロン 酢酸エステル	1967年7月	切迫流産に使用 可。
ディナゲスト錠	ジエノゲスト	2008年1月	子宮内膜症。子宮 腺筋症に伴う疼痛 の改善。
ノルレボ錠	レボノルゲストレル	2011年5月	緊急避妊薬。
エフメノカプセル	プロゲステロン	2019年9月	更年期障害、等。

黄体ホルモン剤の種類と保険適応

各種の薬剤によって適応する疾患が異なる。

商品名	製剤名	薬価 (1錠)	容量	切迫 流産	月経周 期異常	機能性 出血	月経 過多症	月経 困難症	子宮 内膜症
デュファストン錠 (5mg)	ジドロ ゲステロン	24.8	1〜3	○	○	○		○	
			1〜4						○
MPA錠 (2.5mg・5mg)	メドロキシプロ ゲステロン酢 酸エステル	14.7	0.5〜 3	○	○	○	○		
ルトラール錠 (2mg)	クロルマジノン	23.6	1〜6		○	○	○	○	
ノアルテン錠 (5mg)	ノル エチステロン	31.1	1〜6		○	○	○	○	
ディナゲスト錠 (1mg)	ジェノゲスト	97.8	2					○ (腺筋症)	○
ジェノゲスト錠 (1mg)	ジェノゲスト	53.5	2					○ (腺筋症)	○
ディナゲスト錠 (0.5mg)	ジェノゲスト	41	2					○	

経口黄体ホルモン剤の種類と特長

- デュファストン錠5mg（成分：ジドロゲステロン）1～4錠/日 薬価：24.8/錠
 - * 男性ホルモン作用無し。薬効：中程度。排卵抑制弱い（1～2錠では排卵有り）。
 - * 連続投与で月経や不正出血がある。副作用が軽い。妊娠中も服用可。
- 酢酸メドロキシプロゲステロン錠5mg 0.5～3錠/日 14.7円/錠
 - * 男性ホルモン作用が少しある。薬効：中～強。排卵抑制。不正出血は比較的に少ない。
 - * 比較的に副作用が軽い。妊娠中服用可。
- ルトラール錠2mg（成分：クロルマジノン酢酸エステル）1～6錠/日 23.6円/錠
 - * 天然に近い黄体ホルモン作用と弱い男性ホルモン様作用あり。
 - * 不正出血は少ない。周期的投与も連続投与も可能。
- ノアルテン錠5mg（成分：ノルエチステロン）1～2錠/日 31.1円/錠
 - * 弱い卵胞ホルモン（エストロゲン）作用と男性ホルモン様作用あり。
 - * 不正出血時に服用。容量が多く連続投与には向かない。月経移動のため服用可。
- ディナゲスト錠1mg（成分：ジエノゲスト）1～2錠/日 97.8円/錠
 - * 内膜症に特化した薬効。強い黄体ホルモン作用あり、男性ホルモン作用なし。
 - * 子宮内膜症では連続服用が一般的。不正出血が比較的多い。
- ジエノゲスト錠1mg（後発品、成分：ジエノゲスト） 53.5円/錠
- ディナゲスト錠0.5mg（成分：ジエノゲスト）2錠/日 86.1円/錠
- ジエノゲスト錠0.5mg（後発品、成分：ジエノゲスト） 41.0円/錠
- レボノルゲストレル1.5mg
 - * 保険収載なく（全額自費で）緊急避妊薬として服用する。有効率約85%。
- エフメノカプセル100mg（成分：プロゲステロン）： 229.3円/錠
 - * 更年期障害時に服用するエストロゲン製剤に対する子宮内膜の保護。

フロゲスチン療法の副作用

副作用：

基本的にはOCやLEPと同じ。ジェノゲストで特に少ない傾向はないと思われる。

- 1) 嘔気・嘔吐：5%前後
- 2) むくみ。体重増加：10%前後
- 3) 頭痛：1～2%ぐらい
- 4) 不正性器出血または定期的な月経
- 5) 血栓症：増加するという報告はない。ほぼ、通常人と同程度。ジェノゲストで更年期障害の報告。

対症法：

1. 嘔吐・頭痛は一日で中止。
2. むくみ・体重増加は、1～ヶ月の経過観察の結果で中止。
3. 不正性器出血は、少量では継続。長引けば中止。

月経困難症治療薬(LEP)と経口避妊薬(OC)

LEPとは低用量エストロゲンに合成黄体ホルモン（プロゲステロン）を加えた製品で、経口避妊薬（OC）と中身は同一です（薬品の量が少し違う場合もあります）。

- 違いは、LEPは「月経困難症・月経過多症」に対する保険薬ですので、医療保険を使い多くの方は3割負担で購入できます。
- 一方の「OC」は避妊目的のお薬で保険薬ではありませんので、自費となり消費税が付きます。両者とも効果・副作用ともにほぼ同じです。
- また、子宮筋腫があると服用中に徐々に大きくなります。

経口黄体ホルモンに合成エストロゲンを含む [月経困難症治療薬(LEP)と経口避妊薬(OC)]

改善する点：

1. 視床下部の抑制が強くなり、排卵抑制が強くなる(避妊効果)。
2. 月経周期を調節する(たとえば28日周期、月経移動)。
3. 黄体ホルモン単独よりも、不正出血の頻度が低下する。

不利益になる点：

1. 副作用が強くなることがある(たとえば悪心・嘔吐)。
2. 血栓症のリスクが高くなる(1～5人/1万人→5～10人/1万人)。3～4倍。(喫煙で10倍。妊娠で40～60/1万人。)
3. 薬価が高くなる(黄体ホルモン単独：全額保険。約800円～2,200円/3ヶ月 vs. 経口避妊薬：全額自費、約6,000円～9,000円/3ヶ月 vs. 月経困難症治療薬：全額保険、1,300円[後発品]～5,300円/3ヶ月＋処方代)。

当院での月経困難症治療薬の使用状況

(2023.10.01～2023.12.31までの3ヶ月間)

分類	薬品名	使用量	症例数	平均年齢	年齢の幅	備考
プロゲスチン	デュファストン錠 5mg	1～2錠	47			
	MPA錠5mg	1～3錠	56			
	ルトラルール錠2mg	2～3錠	116			
	ジェノゲスト錠 1mg	2	13 (1)			1例は先発品の ディナゲスト
LEP	フリウェULD錠	1	6			
	フリウェルLD錠	1	116			
	ドロエチ配合錠	1	40			
	ジェミーナ配合錠	1	9			
GnRHアゴニスト	ナサニール 点鼻薬	2本/月	0			発売停止
	ブセレリン点鼻薬	2本/月	9			
	リュープリン注射 用1.88mg	1回/月	0			
	スプレキュアMP1.8		0			発売中止
GnRHアンタゴニスト	レルミナ錠40mg	1錠	0			

2025.04.30

* 薬品名の詳細は「[月経困難症治療薬（別ページ）](#)」に記載。

当院での月経困難症治療薬の使用状況

(2023.10.01～2023.12.31までの3ヶ月間)

薬品の分類	使用量	平均年齢 (年齢範囲)	備考
プロゲスチン	232 症例		● 妊娠希望者には排卵抑制のない製剤を。 ● 40歳を過ぎて「血栓症」のリスクが高まる方に。
LEP	171 症例		● 避妊も希望する方。 ● 生理不順の方。 ● タバコを吸わない方。
GnRHアゴニスト	9 症例		● 手術が必要なぐらい大きな腺筋症や筋腫の方で手術を受けたく無い方。 ● 骨塩量が維持できている方。 ● 上記+将来的に妊娠希望のある方。または「閉経」を期待している方。
GnRHアンタゴニスト	0 症例		● 連続して6ヶ月間しか使用できない。 ● 手術前の生理痛を無くしたり貧血を改善する。 ● 最も高価です。

当院での月経困難症治療薬(GnRH製剤)の使用状況 (2023.10.01～2023.12.31までの3ヶ月間)

分類	薬品名	使用量	症例数	平均年齢		備考
GnRHアゴニスト	ナサニール 点鼻薬	2本/月	0			販売一時停止措置を受け 出荷なし。
	ブセレリン 点鼻薬	2本/月	9			ナサニールやリュープリ ンに比べ「更年期障害」 が少ない。アレルギー性 鼻炎の方は使いづらい。
	リュープリ ン注射用 1.88mg	1回/月	0			更年期障害」の出現率 が高く、症状も強い。子 宮筋腫や内膜症の減退 率は高い。
	スプレキュ アMP1.8		0			発売中止
GnRHアン タゴニスト	レルミナ錠 40mg	1錠	0			アンタゴニストのため 投与後の不正出血が少 ない。GnRH製剤中、 最高価格で使用期間 6ヶ月以内。手術を 前提とした使用が原 則。

(GnRH製剤の薬価は別ページに記載しました。)

当院での月経困難症治療薬（プロゲスチンとLEPの使用状況）

（2023.10.01～2023.12.31までの3ヶ月間）

分類	薬品名	使用量	症例数	平均年齢	備考
プロゲスチン	デュファストン錠5mg	1～2錠	47		若年者/妊娠希望者/十分な効果がある方。
	MPA錠5mg	1～3錠	56		薬価が最小。不正出血の頻度がやや多い。
	ルトラール錠2mg	2～3錠	116		最大6錠まで服用可能ですが、2～3錠で有効。
	ジエノゲスト錠1mg	2	13（1）		1例は先発品ディナゲスト
LEP	フリウェルULD錠	1	6		EEを減らしている分、飲忘で不正出血がやや多い。
	フリウェルLD錠	1	116		最初の後発品が出てLEP中最安値。副作用は少ない。
	ドロエチ配合錠	1	40		2023年から後発品が出て安価になった。
	ジェミーナ配合錠	1	9		先発品のみ。薬代がLEPで最高値。現在は他のLEPが合わない方が使用。

2025.04.30

（プロゲスチンとLEPの薬価は別ページに記載しました。）

プロゲステロン製剤の種類と薬価(3ヶ月分)を一覧にしました。

商品名	製剤名	薬価 (1錠)	適正 服用量 (範囲)	標準的 服用量	標準的量を 90日処方時 の価格	備考
デュファストン 錠 (5mg)	ジドロゲステロン	24.8/錠	1～3	1	650円	● 生理痛には1錠/日で。 ● 生理・排卵あり、妊娠可。
				1～4	～2,680円	● 内膜症には4錠/日まで。
MPA(2.5mg・5 mg)	メドロキシプロゲステ ロン酢酸エステル	13.8・ 14.7円/ 錠	0.5～3	2	800円	● 約6割で生理なし。不正出血あり (少量)。
ルトラル錠 (2mg)	クロルマジノン	23.6円/ 錠	1～6	2	1,275円	● 約7割で生理なし。不正出血あり (少量)
ノアルテン錠 (5mg)	ノル エチステロン	31.1円/ 錠	2	2		● 長期間の服用は不可？(NEがOCの 10倍量)。月経移動に適応有り
ディナゲスト錠 (1mg)	ジェノゲスト	97.8円/ 錠	2	2	5,280円	● 不正出血がやや多い。 ● 更年期症状が出る
ジェノゲスト錠 (1mg)	ジェノゲスト	53.5円/ 錠	2	2	2,890円	● 同上
ディナゲスト錠 (0.5mg)	ジェノゲスト	86.1円/ 錠	2	2	4,650円	● 同上
ジェノゲスト 錠(0.5mg)	ジェノゲスト	41円/錠	2	2	2,210円	● 生理痛のみに保険適応あり。
レボノルゲスト レル錠(1.5mg)	レボノルゲストレル	自費	1	1		● 緊急避妊のみ可。
エフメノカプセ (100mg)	プロゲステロン	229.3円 /錠	1	1	6190円	● 更年期障害のみ可。

2025.04.30

(注1) 薬局での負担金は、上記に「調剤技術料」や「薬剤管理料」等が掛かります。

(注2) 上記の薬価(お薬の価格)は2025年4時点です。2026年4月に薬価改定があります。

LEPの種類と薬価(3ヶ月分)を一覧にしました。

商品名	エストロゲンの種類	黄体ホルモンの種類	1錠の薬価	3ヶ月分の薬価	3ヶ月処方時の3割負担分
フリウェル ULD	E.E(0.02mg)	ノルエチステロン(1mg)	70.6円	4,478円	1,340円
フリウェル LD	E.E(0.035mg)	ノルエチステロン(1mg)	66.6円	4,196円	1,260円
ルナベル LD	E.E(0.035mg)	ノルエチステロン(1mg)	140.0円	8,820円	2,650円
ドロエチ配合錠	E.E(0.02mg)	ドロスピレノン(3mg)	82.2円	5,918円	1,776円
ヤーズ配合錠	E.E(0.02mg)	ドロスピレノン(3mg)	157.9円	11,369円	3,410円
ヤーズフレックス配合錠	E.E(0.02mg)	ドロスピレノン(3mg)	157.9円	12,632円	3,790円
ジェミーナ配合錠	E.E(0.02mg)	レボノルゲストレル(0.09mg)	276.8円	17,440円	5,230円
アリッサ配合錠	E4(エステトロール 15mg)	ドロスピレノン(3mg)	180.6円	13,000円	3,900円

- 上記の薬価(お薬の価格)は2025年4月01日時点です。2026年4月に薬価改定予定。
 - E.E=エチニールエストラジオール(合成エストロゲン)
 - エステトロール(E4)は胎児肝臓で産生される天然のエストロゲンの一種。
- * : E.Eの0.02mgはプレマリン錠4錠に相当するエストロゲン濃度。

一血中濃度として約80~120pg/mLぐらいか？

(出典：日本産科婦人科学会HP「Dr石谷の女性医学四方山話」から)

2025.04.30

GnRH製剤の種類と薬価(3ヶ月分)を一覧にしました。

種類	製品名	使用法	薬価	3割負担分 (1ヶ月分)	薬剤費合計 (3ヶ月分)
GnRHアゴニスト	ナサニール 点鼻薬	点鼻スプレー	／瓶		発売停止
	塩酸ナファレリン 点鼻薬	点鼻スプレー	／瓶		発売停止
	スプレキュア 点鼻薬	点鼻スプレー	／瓶		発売停止
	ブセレリン点鼻薬	点鼻スプレー	4,757.6／瓶	2,850円(2瓶)	8,560円
GnRHアゴニスト	注射薬		4週間に1回		
	リュープリン注射 用1.88mg	皮下注射	17,545円/キット	5,260円(1回)	15,790円
	リュープロレリン 酢酸塩1.88mg	皮下注射	14,661円/キット	4,400円(1回)	13,190円
	ゾラデックス1.8mg デポ	皮下注射 (子宮内膜症の み)	19,640円/筒	5,890円(1回)	17,680円
GnRアンタゴニスト	レルミナ錠40mg	内服	858.1円／錠	7,830円 (30日分)	23,490円

- 上記の薬価(お薬の価格)は2025年4月時点です。
- (注1) 点鼻スプレーは1月に2回、注射は1月に1回、レルミナ錠も1ヶ月分処方負担金に対し、3ヶ月分の自己負担金(注射費用や調剤費等を除く薬剤のみ)を「薬剤費合計」としました。
- (注2) これらの薬剤は「骨粗鬆症」のリスクを高めるため、6ヶ月以内の使用が原則です。
- (注3) 薬局での負担金は、上記に「調剤技術料」や「薬学管理料」が掛かります。

2025.04.30